

有明新報

THE ARIAKE SHIMPO

大牟田荒尾版

平成29年(2017年)

9月13日
水曜日

本年度前期 87%合格

県立工業高
トップクラス 第二種電気工事士試験で

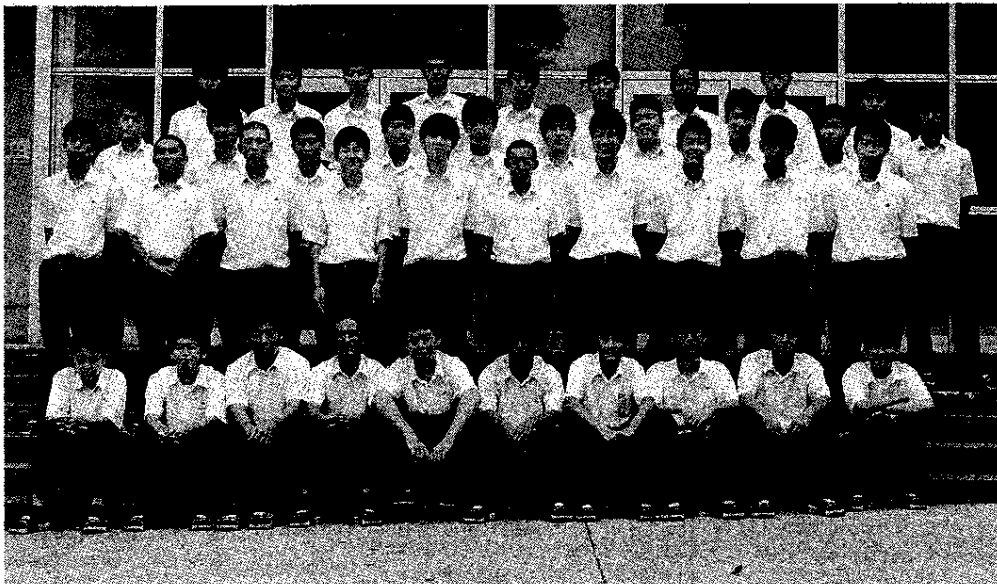
三池工高

大牟田市上官町の三池工業高校(矢野雅伸校長)は、電気科の生徒が2017年度前期の第二種電気工事士試験で合格率87%を達成。福岡県内の県立工業高校では例年トップクラスの成績を収め、全真合格を目標にしている。

電気工事士は国家資格。一般財団法人電気技術者試験センターが前期、後期の年2回試験を実施している。第二種電気工事士は一般住宅や店舗など600ボルト以下で受電する設備の工事に従事でき、全体の合格率が30〜40%程度。電気系生徒にとって登竜門的な資格。

同校から今回、2年生は40人全員が受験して35人合格。再挑戦となった3年生5人も受け、4人が合格。全体では45人で39人が資格を取得。87%の合格率だった。

試験には筆記と技能があり、2年生の筆記合格者は39人。筆記に限ると県内の県立工業高校でトップという。合格した2年の山口諒君は「電気系の仕事に就くのが希望なので、うれしい」。3年の田端直吾君は「合格できて良かった。次は電気メンテナンス会社の就職試験を頑張ると話していた。過去の合格率は95%が最高。全真合格という目標達成ができるよう、生徒と職員が一丸で取り組みたい」と電気科の正木陽一郎教諭。(高本 明)



試験に合格した三池工業高校生徒